主要施策名:(2)コミュニティ活動の充実

事務事業本数:3

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
		(3)地域コミュニティ の担い手育成 623-1 公民館支館活動推進事業		公民館支館活動推進事業	コミュニティ推進 課
⑥公平で誇りの 持てる社会づくり	(2)コミュニティ活動の充実	(2)コミュニティ活動	622-1	自治公民館施設整備事業	コミュニティ推進 課
		拠点の整備	622-2	岱明町公民館建設事業	コミュニティ推進 課

実施 令和02年度(令和元年度実績)

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称		公民館支館活動推進事	*	所管課	[2]	コミュニ	ティ推進	課	
事務事業の石物		3. 风船人路沿到推延争	*	作成者(担当	(者)	隈部 智	華		
総合計画での位置付け		基本目標(章)	⑥公平で誇りの持てる社会づくり					重点	4
		主要施策(節)	(2)コミュニティ活動の充実					施領	L 14
[:	3]	施策区分	(3)地域コミュニティの担い手育成						該当
		□ 市長公約 □	新市建設計画【 年月	度予定 :	金額		0	千円	1
実施の根拠 (複数回答可)		■ 法令、県·市条例等	【 社会教育法、玉名市公民館条例]		
	5]	■ その他の計画【	玉名市教育振興基本計画]		該当な	L	
事業区分 [6]		■ ソフト事業	□ 義務的事業 □ 建設·整備 ³	事業 🗆	施設の	維持管理	事業		
] 内部管理事務	□ 計画等の策定事務						
会計区分 [7]	■ 一般会計 □	特別·企業会計【]	款 10	項 5	目 2	細目	7

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どの ような問題又はニーズがあ るのか) [8]	生涯学習社会の確立のためには、各支館活動の充実が不可欠であることから、それぞれの支館が個性や創造性を 生かした計画づくりを行うとともに、地域の担い手の育成を積極的に推進する必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、支館
	支館長会議、研修会等の開催や委託料(運営費)での支館活動を支援し、支館長を中心にした支館活動の活発化を 図るとともに、支館活動の目的に応じた文化・スポーツ事業等を通して、地域住民の連帯を図る。また、多くの支館が 実施しているレクリエーション性の強い事業に加え、生活改善や地域振興へつながる事業の提案も行っていきたい。

《事務事業の概要》

<u> </u>									
古米切目	□ 単年度	きのみ	■ 単年度線	繰返し		期間	引限定複数年度		
事業期間 【11	<u>1</u> [年度】	【 H17	年度から】	[年度~	年度まで】	
事業主体 【12		□県	■市	□ 民間		その)他【]
実施方法 【13	」□ 直営	□ 全部委	託·請負 ■ 一部	『委託·請負 □ 補耳	助金等交	付	□ その他【]
					[15]	事系	8事業を構成する	細事業(5)本	
				を館長会議や支館長 官職員が参加し、支館		1	玉名市公民館支	館長育成事業	
事務事業の具体的内容	支館に委託	長のリーダーとしての資質向上を図る。また、支館運営については、各 支館に委託しており、地域性にあった各種スポーツ大会や文化事業な どが自主的に実施できるように支援している。			→	2	玉名市公民館支	館活動推進事業	
[14			-2120 (0.00)			3	岱明町公民館支	館事業支援業務	

《事務事業実施に係るコスト》

			H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	全体計画
	事	国庫支出金	0	0	0	0	0
	業 費	県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
	~ 千	受益者負担	0	0	0	0	0
投	円	その他	0	0	0	0	0
入	\sim	一般財源	8,518	7,546	7,536	8,394	0
		[16] 小 計	8,518	7,546	7,536	8,394	0
ス		[再掲]臨時·非常勤職員人件費(千円)	640	640	771		
١		職員人工数	1.28	1.34	1.90	1.90	
	職人 員件	職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,476	5,476	
	の費	会計年度任用職員の人件費(千円)				1,714	
		[17] 小 計	7,584	7,901	10,404	12,118	
		合 計	16,102	15,447	17,940	20,512	

≪事務事業の手段と活動指標≫ [18]

	事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
(五名市公民館支館長育成事業	支館長会議・研修会を開催す る。	研修会実施回数	口	3	3	2	2
(911	公民館支館運営のために委託料 を支出し、活動支援を行う。	委託料交付団体数	団体	21	21	21	21
(③ 岱明町公民館支館事業支援業務	支館活動を通したまちづくりの 支援を行う。	支援支館数	支館	4	4	4	4

《コスト評価による年度比較》 [19]

П		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
ス	対象(支館事業参加人数)	10374	11194	9923	6000
	投入コスト合計(千円)	コスト合計(千円) 16,102 1		17,940	20,512
評	対象1単位あたりのコスト(千円)	2	1	2	3
価	コスト評価(対前年比)	***	112.48% (↑)	76.33% (↓)	52.88% (↓)

≪事務事業の成果≫ [20]

_									
	成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明単		H29目標	H30目標	R01目標	R02目標		
	汉末11宗(总囚以致旧儿)			H29実績	H30実績	R01実績	/		
	支館事業実施回数	 支館が主催した事業の回数	回	78	80	70	40		
	文 昭争未关旭回数	文品が主催した事業の自数		60	73	65			
	2 支館事業参加人数	 支館が主催した事業の参加人数	人	13700	10000	10000	6000		
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	文語が主催した事業の参加人数		10374	11194	9923			
Г	* 成里未達成時の理中 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの事業が中止となったため。								

《車務車業の評価》

W 77 7,	粉争未の計画/		
	評価の視点		評価結果
	・市が実施するよう法令等で義務づけられている		妥当性評価
	□・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす		a 高い
	□・市が事業へ関与する必要が薄れている		b やや高い
妥 当	□・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている		c やや低い
性	■・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる		d 低い
.—	□□・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である		
[21]	■ ・事業開始当初の目的から変化してきている		С
	□・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		
	□□・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している		効率性評価
÷1	■・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい		a 高い
効 率 性	□・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である		b やや高い c やや低い
	□ ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	5	d 低い
[22]	□・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		b
[22]	□・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		D
	■ ・成果指標を設定している		有効性評価
	□・成果指標の目標値を達成した		a 高い
+	■ ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない		b やや高い
有 効	□・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる		c やや低い
性	□・法定事務であり成果は求めにくい		d 低い
-	□ ·事業について積極的にHPや広報等で情報提供している		•
[23]	□ ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している		С
	□ ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地が	がある	
公 平	□ ・受益者負担がある ⇒ □ ・金額が妥当 □ ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00	%]	1
性	■・受益者負担が無い ⇒ □・設定できる ■・設定できない理由(該当しないため)	[24]

≪前回からのふりかえり結果と今後の方向性≫

Ī	前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況 【25】		年、支館活動は各支 は支館への情報収			直ちに方向変	換をすることは困難であった	≿が、支館に必	◇要な講習・
今後の方向性 [26]		_	拡充して継続 執行方法の改善	_	現状のまま継続 休止・廃止		縮小して継続 終了	総合判定	С
	今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	する	支館への講師派遣	といった方向	向性も検討すべきであ	ると思われる。	は活性化事業、研修)などに 。また、各支館活動への御樽 るので、次年度以降は要求し	も予算化され	ているが、活
次年度への予算反映(連動)_			•増額 (細事業名)					
人	+及べの『昇及吹(建動) [27]		•減額 (細事業名)					

■評価責任者記入欄■

	地域の担い手づくりがこれからの地域コミュニティの構築に重要なことから、先進事例等をリサーチする	評価責任者
	とともに、各支館に何が必要なのかを見極めながら、それぞれの実情に応じた支援を提供していく必要	平川 伸治
[28]	がある。また、地域活動を委託するというこれまでの形態を見直すなど新しい支援の方法を模索する。	一川 中心

実施 令和02年度(令和元年度実績)

事務ふりかえりシート

《基本情報》

<u> </u>			
事務事業の名称	自治公民館施設整備事業	所管課 [2]	コミュニティ推進課
学初学来の石 が 【1】	日沿五氏站池改是備事末	作成者(担当者)	隈部 智華
	基本目標(章) ⑥公平で誇りの持てる社会づくり		重点
総合計画での位置付け	主要施策(節) (2)コミュニティ活動の充実		施策
[3]	施策区分 (2)コミュニティ活動拠点の整備		口該当
	□ 市長公約 □ 新市建設計画【 年度	度予定 : 金額	0 千円】
実施の根拠 (複数回答可)	■ 法令、県·市条例等【 玉名市自治公民館施設整備費補助	金交付要綱	1
[5]	■ その他の計画【 玉名市教育振興基本計画]	□ 該当なし
事業区分	■ ソフト事業 □ 義務的事業 □ 建設・整備署	事業 □ 施設の	維持管理事業
事業区方	□ 内部管理事務 □ 計画等の策定事務		
会計区分 [7]	■ 一般会計 □ 特別·企業会計【	】 款 10	項 5 目 2 細目 8
《事務事業の目的》			
事務事業の宝施背暑(どの	天名市内には258第所の自治公民館が存在している。自治公民		よいな 一番 かんしょ ほうしょ ほうしゅう はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしゅう はんしゃ はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ はんしゃ

	玉名市内には258箇所の自治公民館が存在している。自治公民館は、地域住民の一番身近な交流施設であり、建物の中には、老朽化している建物が数多く存在しているため、地域住民の一番身近な生涯学習の場並びに交流施設と しての充実を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、自治公民館
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	自治公民館の新築及び修繕の経費を市より補助することで、住民の学習意欲に答え、地域づくりの拠点として施設の安全及び利便性を向上させる。

《事務事業の概要》

市		単年度のみ		単年周	度繰返し			期間	限定複数年度		
事業期間 【11】	l	年度 】	[H17	年度から】		[年度~	年度まで】	
事業主体 [12]		国 □ 県		市	□ 民間			その	他【]
実施方法 [13]		直営 □ 全部委	託·請負		・部委託・請負 ■	補助]金等交	付	□ その他【]
	41	へ <u>料本の批准に必要な</u> 点2	ハロ絵の	ンエチナ	四半」 なるお本 語	T. #14	[15]	事務	事業を構成する	細事業(1)本	
		社会教育の推進に必要な自治公民館の活動を促進し、社会教育活動 の振興発展を図るため、自治公民館を整備しようとする地区に対して 補助金を交付する。						1	自治公民館施設	整備補助事業	
事務事業の具体的内容	の ^t	築(建築後24年以上の建替 場合は、事業費の3分の1か 業費の3分の1かつ上限100	つ上限30	0万円。	増築・改築の場合	は、	\Rightarrow	2			
[14]		未買り3分り77かり上版100 つ上限30万円。	ノン 10 シ 小	古りが。	16、爭未負の5万0			3			

《事務事業実施に係るコスト》

		大心に味るコスドル	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	全体計画
	事	国庫支出金	0	0	0	0	0
	業費	県支出金	0	0	0	0	0
	費 へ 千	起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
投	Ä	その他	0	0	0	0	0
入	\sim	一般財源	10,040	560	1,560	5,500	5,500
		[16] 小 計	10,040	560	1,560	5,500	5,500
ス		[再掲]臨時·非常勤職員人件費(千円)	0	0	0		
١		職員人工数	0.58	0.30	0.55	0.55	
	職人 員件	職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,476	5,476	
	の費	会計年度任用職員の人件費(千円)				0	
		【17】 小 計	3,436	1,769	3,012	3,012	
		合 計	13,476	2,329	4,572	8,512	

≪事務事業の手段と活動指標≫ [18]

-	事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
1	自治公民館施設整備補助 事業	公民館の新築・改修・修繕を行う行政区に対 し、補助金交付を行う。	補助金交付単年度件 数	件	6	3	7	5
2		公民館の新築・改修・修繕を行う行政区に対 し、補助金交付を行う。	補助金交付累計件数	件	102	105	112	117
3								

《コスト評価による年度比較》 [19]

П		H29年度決算	H30年度決	:算	R01年度決	算	R02年度予	算
ス	対象(補助金交付件数)	6	3		7		5	
	投入コスト合計(千円)	2,000			4,572		8,512	
評	対象1単位あたりのコスト(千円)				653		1,702	
価	コスト評価(対前年比)	***	289.31%	(↑)	118.86%	(↑)	38.37%	(↓)

≪事務事業の成果≫ [20]

_	1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -								
	成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標		
		11 昇力広入14 武明	半位	H29実績	H30実績	R01実績			
	自治公民館整備率	H17年度以降の補助金累計交付件数/全自	%	40.69	42.2	43.4	45.3		
	日心公氏路至哪平	治公民館数(258)×100		39.5	40.6	43.4			
Ľ									
	* は田土港は時の理内								

* 成果未達成時の理由

__ 《事務事業の評価》

	7,	未の計画 が 評価の視点	評価結果
		・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価
		・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	a 高い
_		・市が事業へ関与する必要が薄れている	a 間い b やや高い
妥业		・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	c やや低い
妥 当 性		・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	d 低い
		・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	b
[21]		・事業開始当初の目的から変化してきている	D
		・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	,
		・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価
盐		・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	a 高い
効 率 性		・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	b やや高い c やや低い
性		・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	d 低い
[22]		・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	а
1221		・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
		・成果指標を設定している	有効性評価
		・成果指標の目標値を達成した	a 高い
有			b やや高い
効		・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	c やや低い d 低い
性		・法定事務であり成果は求めにくい	α IP.C.
[23]		・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	b
1201		・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	~
		・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公 平		・受益者負担がある ⇒ □・金額が妥当 □・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	
性		・受益者負担が無い ⇒ □・設定できる ■・設定できない理由(補助金であるため)	[24]

≪前回からのふりかえり結果と今後の方向性≫

Ī			合公民館は建築から えていく。	数十年が	「経過しているものも多	く、地域活動を発	安全に行う場所を確保する	ため、引き続き	市民の要望
	今後の方向性 【26】	_	拡充して継続 執行方法の改善	-	■ 現状のまま継続 □ 休止・廃止		111 1 0 C112170	総合判定	Α
	今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	介護める	護課の介護予防拠点	整備費補	助金補助金との重複	交付を防ぎつつ	を続き地域づくりの拠点施設 、改修内容によって有利な 善の調査に基づき、予定され	補助金を案内	することに努
ነ ታ /	次年度への予算反映(連動)		•増額	(細事業名	i)				
人	+及``O'」,并及吠(建勤) 【27】		- 減額	(細事業名	i)				

■評価責任者記入欄■

自治公民館は地域コミュニティを安全安心に行うための拠点となる施設であることから、補助金の周知	評価責任者
日泊な氏語は地域コミューティを女主女心に行うための拠点となる他設であることから、補助金の周知に努めると共に、行政区の要望に応えるべく丁寧な説明応対を継続する。	平川 伸治

実施 令和02年度(令和元年度実績)

事務ふりかえりシート

《基本情報》			
事務事業の名称	岱明町公民館建設事業	所管課	2] コミュニティ推進課
事務事業の石物 [1]	山州可公民路建設事業	作成者(担当者)	岸田 稔
	基本目標(章) ⑥公平で誇りの持てる社会づく		重点
総合計画での位置付け	主要施策(節) (2)コミュニティ活動の充実		施策 [4
[3]	施策区分 (2)コミュニティ活動拠点の整備		□該当
## 0 18 lbs	■ 市長公約 ■ 新市建設計画【	年度予定 : 金	額 0 千円】
実施の根拠 (複数回答可)	□ 法令、県·市条例等【		1
[5]	■ その他の計画【 第2次玉名市行政改革大綱、玉	名市公共施設適正配置計画	】 □ 該当なし
事業区分	□ ソフト事業 □ 義務的事業 ■ 建	段•整備事業 □ 施訓	设の維持管理事業
事未达力 [6]	□ 内部管理事務 □ 計画等の策定事務		
会計区分 [7]	■ 一般会計 □ 特別·企業会計【	】款	10 項 5 目 2 細目 21
《事務事業の目的》			
事務事業の実施背景(どの ような問題又はニーズがあ るのか) [8]	昭和41年に建設された岱明町公民館は、築50年以上 震安全性も確保されておらず、また現在の利用状況から		
対象 (誰、何に対して、受益者等)	岱明町公民館、公民館利用者、市民		

《事務事業の概要》

(どのような状態にしたいか)

[9]

<u> </u>						
古 本 和 即	□ 単年度のみ	■ 単年度繰返し	□期	間限定複数年度		
事業期間 【11】	【 年度】	【 H30 年度から】	[年度~	年度まで】	
事業主体 [12]	□国□県	■ 市 □ 民間	□ そ	の他【]
実施方法 [13]	■ 直営 □ 全部	委託·請負 🗌 一部委託·請負 🔲 補	助金等交付	□ その他【]
			【15】 事	務事業を構成する	細事業(1)本	
	・老朽化が著しく耐震安全性	生も確保されていない岱明町公民館につい	1	岱明町公民館椅	討業務	
事務事業の具体的内容	て、本市の公共施設マネジ、 考慮し建て替えを進める。	メント方針である公共施設適正配置計画を				
[14]			3			

生涯学習活動やまちづくりに寄与する公民館の役割を果たすため、また地域間における連帯感の醸成や連携意識の 向上を図るためのコミュニティ活動拠点として、新たな公民館で何ができるかという機能を重視し、利用状況に応じた

必要な空間や設備を整備する。また、将来の財政的観点を考慮した効率的で効果的な運営管理となる施設とする。

《車務事業宝施に係るコスト》

W 77 1.	◇ 予切予未夫応にはのコハトル										
			H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	全体計画				
	事	国庫支出金	0	0	0	0	0				
	業	県支出金	0	0	0	0	0				
	費	起債	0	0	0	22,900	320,100				
	イ 千	受益者負担	0	0	0	0	0				
+ 7 .	円	その他	0	0	0	0	300,000				
投 入	\sim	一般財源	0	0	0	21,253	61,142				
		[16] 小 計	0	0	0	44,153	681,242				
ス		[再掲]臨時·非常勤職員人件費(千円)	0	0	0						
		職員人工数	0.00	0.20	0.70	0.20					
	職人 員件	職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,476	5,476					
	の費	会計年度任用職員の人件費(千円)				0					
		[17] 小 計	0	1,179	3,833	1,095					
		合 計	0	1,179	3,833	45,248					

≪事務事業の手段と活動指標≫ [18]

	事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
C		適正規模での建て替えのため計画検討をし、 説明や周知をする。	検討会議回数と説明会 開催回数	□	***	22	26	***

《コスト評価による年度比較》 [19]

	·· ·· · · · · · · · · · · · · · · · ·									
П			H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算				
	ス	対象(検討会議等回数)	0	22	20	0				
		投入コスト合計(千円)	0	1,179	3,833	45,248				
	評	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	54	192	0				
	価	コスト評価(対前年比)	***	0.00% (-)	27.96% (↓)	0.00% (-)				

≪事務事業の成果≫ [20]

	成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標			
	灰木田保(总因)	可异力从人员就仍		H29実績	H30実績	R01実績				
1	建設計画提案の採用	議会で承認されたか、否か。	棟	***	1	1	***			
	建設可画提案の採用			***	0	1				
2										
*成果未達成時の理中										

《學》	務事業の評価≫		
	評価の視点		評価結果
	□・市が実施するよう法令等で義務づけられている		妥当性評価
	□・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	Ī	a 高い
	□・市が事業へ関与する必要が薄れている		b やや高い
妥 当 性	□・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている		c やや低い
性	□・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる		d 低い
	□・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	Ī	b
[21]	□・事業開始当初の目的から変化してきている		D
	□・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		
	□・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している		効率性評価
**	□・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい		a 高い
効 率	□・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である		b やや高い c やや低い
性	□ ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	る	d 低い
[22]	■・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	Ī	b
[22]	□・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		Ü
	■・成果指標を設定している		有効性評価
	■・成果指標の目標値を達成した		a 高い
+	□□・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない		b やや高い
有 効	■・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる		c やや低い
性	□・法定事務であり成果は求めにくい		d 低い
[23]	□ ·事業について積極的にHPや広報等で情報提供している		С
[23]	□ ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している		C
	□・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地	がある	
公	□ ・受益者負担がある ⇒ □ ・金額が妥当 □ ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.0	0 %]	
平 性	□・受益者負担が無い ⇒ □・設定できる □・設定できない理由()	[24]

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

Ē	前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況 【25】	市民	∵議会に対して、公	民館建設の	概要状況説明を行い一定の	理解を	頂いた。		
	今後の方向性 【26】	_	拡充して継続 執行方法の改善		現状のまま継続 休止・廃止		縮小して継続 終了	総合判定	С
	今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	3月	議会で予算承認は〕	頁いたが、阝	付帯決議付きとなり、執行部と	:議会と	の意思の合致を目指し、更に	に丁寧に協議	を行う。
ነ ታ ሪ	次年度への予算反映(連動)		•増額 (細事業名)	岱明町公民館建替事業				
次年度700万异及峡(建勤) 【27】			•減額 (細事業名)					

■評価責任者記入欄■

	岱明町公民館は、老朽化が著しく耐震安全性も十分確保されていないため建替えが急務である。	評価責任者	
評価責任者(課長)の所見 【28	早期建設は地域の悲願でもあることから、計画案を議会を始め利用者や地域の方々に丁寧に説明しながら事業を推進する。	平川 伸治	
<u></u>	はからずれて住庭する。		